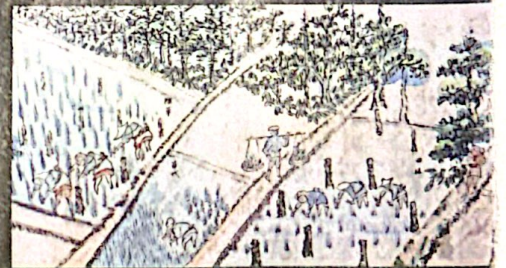




大雪連峰をのぞむ東旭川の稲作地帯(南端通りからスケッチ)

ようこそ！
上川百万石の礎 東旭川へ

にるっと 東旭川 たんけんマップ



入植当時の田植え



入植当時の動物たち

(旭川兵村記念館蔵『屯田兵絵巻』より)

東旭川には、市街地を取り巻くように豊かな水田地帯がひろがっています。

明治25(1892)年、「旭川兵村」に屯田兵とその家族400戸が入植して、農業と警備にあたったのが、東旭川の開拓の始まりです。旭川兵村は、深い森をひらき、8年ほどで、この地域全体に農業用水をはりめぐらして、水田づくりを一気に進めました。そして村が一丸となって、水田開発を進め、米の大量生産を周辺や北海道全体へとひろげました。旭川兵村の努力は、「上川百万石の礎」と呼ばれています。

このマップは、「水田と人々の暮らし」をテーマに、東旭川の歴史と見どころを紹介しています。マップを持って東旭川を探索してみましょう！

東旭川市街のまちなみ

入植から120年余でまちの姿は大きく変わりました！

現代



大きな森に囲まれた村
そして商業・住宅地へ

開拓当時は大きな森に囲まれていた旭川兵村ですが、明治末期～大正時代にかけて、村の中心の道路の両側にお店がたち並び、小さな市街ができてきました。昭和初期からは電車が走行して、東旭川市街は、くらしがいろいろ便利になり、商業地や住宅地へと変わっていきました。

(左写真撮影：芦原大記さん)

昭和時代



▲ 商店や整備工場、銀行、消防団の火の見櫓などが見えます。道路はきれいに整備されています。

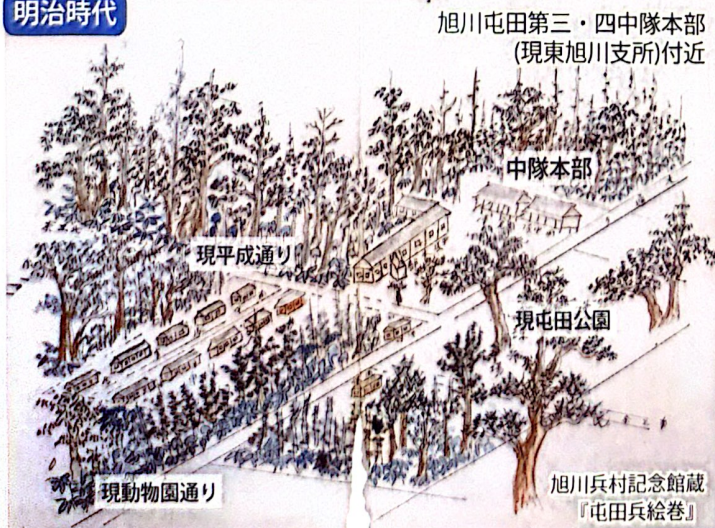
現代



▲ 中央のゲートには、国体の「奉迎」の文字、右端には電車の停留所と用水路が見えます。道路は砂利道です。



明治時代



大正時代



▲ 道路の両側に小さな商店ができ、にぎわっています。
▲ 大きな木の間に建つ中隊本部は、開拓に不安を持つ屯田兵にとって、心強い頼りになる場所でした。

※ 『旭川屯田百十周年記念誌写真集 兵村』(旭川屯田会 2001)より写真転載

地域の歴史・みどころ紹介

旭川反村の中心として発達した地区であることから、旭川神社、旭川小・中学校があります。今も上反村、下反村と呼ばれる旭川反村ゆかりの地名が残っています。東旭川竜田公園には、開拓の記念碑がたくさんあり、自然のふもとに静かに佇んでいます。

- 夢野川・塩田公園
● 塩川・塩田神社
上川郡万毛の郷となつた「塩田町の歴史」の巻があります。米の大量生産に就いた「タコ足」の巻や橋まきや「塩田」の巻があります（2016年道有文化財指定）なども見ることができます。
- 塩田神社
● 塩田神社・塩田神社の塩田（夢野川に塩田橋）
- 
- ▲ 塩田神社（上川郡万毛町）



現在、田園と工業団地がなる地区です。南拓町の住民のチャレンジ精神、「田舎風」を受け継いで、さまざまな工業が発達し、東旭川の高工業発展の中心地と期待されています。また、地区の北側には先史時代の遺跡群が分布し、昭和30年代(1955～64年)に発掘調査が行われ、たくさんの土器や石器が採集されました。

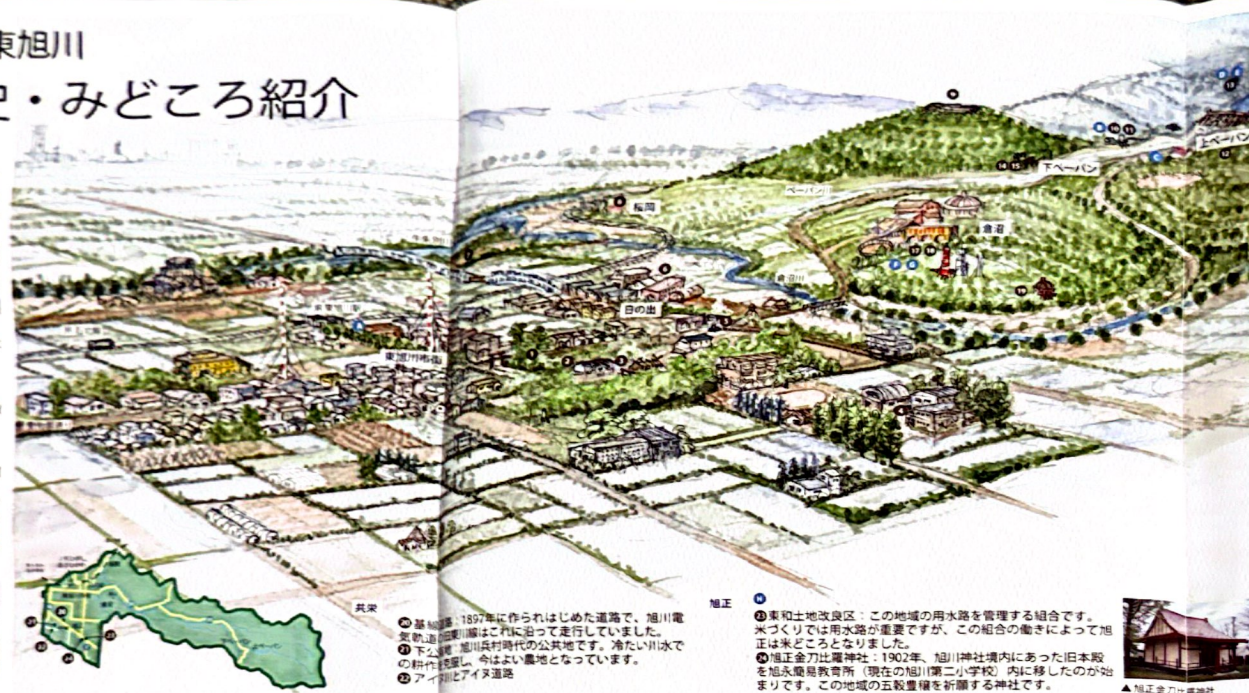
- 東城川で一帯古い農業用水（かんがい渠）
1994年に現在の会通川から大通り5丁目を通る用水路が直られ、まづくり拡大のきっかけになりました。その記念碑が「会通」です。
- 塩川工業団地
● 日の出運動場
- 
- ▲ 会通の碑



成田氏たちが一つになるには「祭り」が必要であるとい
え、例えば、明治26(1893)年に成田神社がつけられまし
た。大祭は5月14～16日は、成田神社の国忌祭で日曜日
に合わせた始まつてゐるが、現在は、神興行列をメン
に、朝顔大会、コンサーなども行われてゐる。成田
神社の神興は、神興の中でも一番大きな祭で、明治35
年に100周年を記念して奉納された。当時はまだ
刀の技術が高くなつて、お米をたくさん収穫できな
かつた。この神興には、はちや鬼馬に神興の戸の張い
が足られてゐる。はちや鬼馬に神興の戸の張い



▲ 旭川神社の神輿(8月14日青宮祭)



▲ 駅前のイチョウ並木

- JR 東旭川駅から続く平成通りにあり、旭川市の鳥居をバックに、秋に美しく色づきます。

- ④ ペーパンの記念坂**
小高い丘に歴史を記念した像と神宮があります。この丘から眺める大雪山はとても雄大で見事！ 朝にお花見の時間は、たくさんの市民が訪れます。



◎ペーパンのキタコブシ

ペーパンの溪谷原野、山すそを飾る甘い香りのする白い花です。春の訪れと農作業の開始を告げます。



④ 21 世紀の森と

ペーパンダ
大雪山の雄大な自然とダム湖をめ
ることのできる絶景の場所です。

● 中鶴根山 ▶

21世紀の森の散策路とつながり、展望タワーから大雪連峰 360°を日遊せます。

● 旭山のサクラ

明治末期に約千本の苗木が植えられて以来続く、道内有数の名所です。



旭山・三浦庭園

水面をいろどるスイレン、カキツバタ
など夏の花々、秋の紅葉は見事です。



旭正からみた広大な水田地帯

春には、田植えの終わった田んぼの水面に、残雪の残る大雪山が映ります。「米どころ旭正」ならではの美しい景色です。



明治29～40(1896～1907)年に、下村育英財団農場などによって、開拓が進められた地区です。しょうゆ製造で財産をつつた下村長蔵は、教育熱心で、農業者が勉強するための本を集めた「日東文庫」をつくりだした。現在は、カフェや宿泊施設等ができ、新しい観光地としてにぎわっています。

- 吉村レンガ工場の煙突跡
1942年、原料となる豊富な粘土が採れることから建設。戦後の閉鎖以前は、1年に300万個ものレンガを生産した時期もありました。
- 三角山：この地域で一番高い山で、市街からは三角形、横からは台形に見えます。下ペーパンの住民は「岩山」とも呼んでいます。頂上部は、平らな溶岩の台地で、眺めのよい場所です。



上へバーバは、アイヌ語で「甘い水」という意味です。
 上へバーバは「東原」と「高嶺」となっています。この地区の開拓は、明治31(1898)年、福島団地(福島県出身者の団地)によって始まり、続いて南部団地、宮城団地など、団体移住による自作農によって行われました。
 下へバーバの開拓は、明治29(1896)年、佐世保藩民はじまり、主に島嶼移住した小作農によって進められました。山あいの集落で、寒くて耕作が難しい土地でしたが、たさんのため池がつくられて、水田はよって「豊田」と呼ばれる豊かな水田地帯となりました。

- トペーバン**
- 太田神社：1908年に福島県民によって創設されました。「トペーバン福島祭り」は、郷土芸術として市民に親しまれ、現在のイベントでも披露されています。
- 養蚕歴史家：福島県の主要産業だったこと、蚕の繭をたてまぐろの殻がたくさったことから、トペーバンも養蚕と密接に関わり、この家を建てたという1973年市文化財指定。
- 上南郡水戸藩：このごときの水を運ぶと体が丈夫になると言いつけられていました。
- 21世紀の森：一部は戦後の開拓地で、大雪山の最奥の登山口もありました。現在は花笠伝説、バーク・グロンド、温泉などをも備えた夏山リゾートで、豊かな自然の魅力です。
- 下トペーバン**
- 神田神社：明治末期、山で一番大きなハルニレの木を背に、豊作を願って作られた祠が、今も続く神田神社です。
- 開拓者：開拓地から約70年前、大規模な水田灌漑が行われていたことが分かります。
- 熊手獅子舞：熊手獅子舞の盛況といふほど、昭和初期には1947年から続く獅子舞で、富山県出身者が多く参加していると考えられています。現在、再びのイベントでも披露されています。
- 
- ▲景観作家



会沼川の沿線に開けた水田地で、地区の守り神は旭山の麓の会沼神社です。旭山には、屯田開拓の記念館や歴史遺産が数多く、たくさんのテレビ塔、旭山公園とその散策路もあります。スキーや軽登山、川遊びなど、旭山は昔から地域の子どもの遊び場でもありました。

- ①旭山：屯田兵の鉄砲の訓練場であったことから「射^{しやう}の山」とも呼ばれ、カタクリの群生地や八十八ヶ所の巡礼の路など、見どころがたぐひなくあります。

旭正・共栄

この地区は、かつての旭川兵村が学校をつつたり、道路を直したりする資金を得るための公有地（公共地）でした。そして、旭川市街から東川方面に通う「アイヌ道路」と呼ばれた踏み分け道があり、アイヌ民族のほか開拓者も利用しました。この道に沿った「アイヌ川」は、サケがたきさんのぼつて入りに漁獲できたと伝えられており、現在も地名として残っています。現在、この地区のほとんどの水田地帯ですが「東米」「豊田」は、住人・高地化に変わっています。



東旭川の名物

味じまんの特産品が勢ぞろい！

(入手方法など詳細は、生産・製造元へお問い合わせください。)

屯田米・東旭川米

大雪山溪から注ぎ出るミネラル豊富な清水で育まれた東旭川のお米



J A東旭川 旭川市東旭川南1条5丁目8-22

お酒・兵村味噌

東旭川米で仕込んだ純米酒・甘みのある大豆で作った無添加手作り味噌



J A東旭川 旭川市東旭川南1条5丁目8-22

千鳥揚げ

大正11年創業・老舗料理店小野木の名物料理「千鳥揚げ」



鳥料理 小野木 旭川市東旭川北1条6丁目10-27

黒豆甘納豆・ハッカ甘納豆

天然のコラーゲン配合で甘さを控えた上品な味、原料は東旭川産の黒豆を使用



株式会社 旭川食品 旭川市工業団地5条3丁目798

有機栽培トマトジュース

真っ赤なトマトで有名な谷口農場、人気No.1トマトジュース「ゆきぐん」



農業生産法人 谷口農場 旭川市東旭川町共栄255

手造りゆきわみそ・三升漬

添加物のない安心な食べ物にこだわった、昔ながらの懐かしい味



旭正2生活改善グループ 旭川市東旭川町旭正409

たまご

生みたて新鮮たまご、あつあつご飯の上におすすめ！！



株式会社 旭川ポトリー 旭川市東旭川町旭正200

企画・製作 旭川兵村記念館友の会・旭川兵村記念館・北海道博物館 青柳かつら (本研究はJSPS 科研費15K01153の助成を受けたものです。)

お問い合わせ 旭川兵村記念館 tel. 0166-36-2323

レイアウト協力 早坂有美